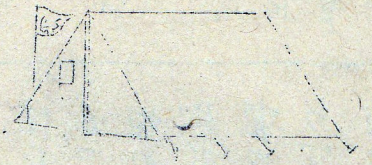


DREAM

Jun., July, Aug. No. 4



お誕生会

お誕生会も東京才四田の十一

回目のお誕生会は六月十日

日、四時三十分に出かけた。

まず海越さん、清瀬美佐子

さん二人の入団式が行われ

続いて組の表彰式、五つの

組がそれぞれその組によつて

わくわく賞を組旗につけて頂

ぎました。次に会計の発表

書記の一年間の報告、左も

つて終り、父兄はスカウト

の種々の作品を見学しながら

お祝い会のプログラムに入

りました。お誕生日の順で

席につき、小崎先生の食前

の感謝をもって食事会の腕

をふるった。テラミズミをパ

クつきました。又お食事中

には他已紹介もほさみ笑ソ

の内に食会を終えました。

組の出しもの、初級のゲー

ムの後、B、C、ミニアミー

グラフィ、カブ、子団から

おスバラナイアプレゼント

皆大喜びでした。中でもB

ミニア、カブプレゼントは評判

で笑ソの的、即須キヤニッ

ではお言葉無通りの、C、Bに

後立正せました。後はお慶

び楽しく遊びました。

本当にすばらしいお誕生会

でした。

全国キヤンパ

戸隠 ちまろフオ二期

二十七日 午後八時半上野駅発

合 本連東京四回五人は富江下

やんのリーダで十二時五十分

上野駅上田行きに乗った。汽車

は真黒な夜道をハットライトを

たドリに走って行く。お達は運

車手の苦勞も知らずに色の守り

景色を窓越しに見ている。自

然に瓶りに入った。

二十七日 車中で先面しザック

中社まで運ぶれた。その日は雨

の為目的の地にはけずそこで一晩

を過ごすことにした。

可ぐに西替え、御替えも行い南

会式をした。始めはつむってソ

た口も閉き寝る前には何年かの

夜道のように予くらを並べて話

り合った。

二十七日 行いが長かったのぬ

各々がマに吐き出す如くは真青な

空に太陽が顔を隠した。大衆の

いのだらうと再び由いたいの

だった。

二十九日 始めこのテニットの寝

ぐこちは何とも云えずいい。しか

し朝の冷える事体が氷にいたる

ようだった。

本当のプログラムはハイキニグ

の予定だったが一週遅れたため

にクラフトの続きになった。日

中の暑さには皮膚が剥けること

ことだろう。最後の夜のキャニ

フイヤーは七時頃から行われた。

四人オリーの炎の真火でこけい

のように燃える火その明りを元に

して着々と進められた。輪にな

っている向側の人の顔が見え

なくふり出した。霧 ものすこ

い濃の霧が所々つてきた。お連

は海上ヒいろようだった。

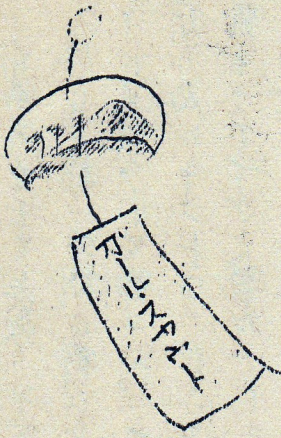
三十日 帰るとなるともう少し

居た。けれど御殿炊き男をし

ていろとガスがこいしくなる。

もとの虹が二重のりです。一層暫
 くの間は果然とこの虹を見てお
 りました。リーダーの方がこの
 虹を見たはずでも戸腕に来たか
 らがあったらとつぶやいておられ
 ました。本当にノソウです。
 来年はこのキャンプが同処で行わ
 れるでしょうか？親しくなった
 各地の Scout と又会え多めが楽
 しみます。今迄より二層の Scouting
 に励みましょう。一層技を磨き
 よう。Scout となり。来年のキャン
 プには今年参加出来なかった人々
 参加出来る様に。

一完



わたしのくつはよく笑う

わたし くつは
 よくわらう
 やがてくつは
 よくわらう
 おるやがてくつはよくわらう
 よくわらう

(詞) 輪唱ありとある。



TOGAKUSHI

コノ隠才三期キャンゾ

K.A. 記者

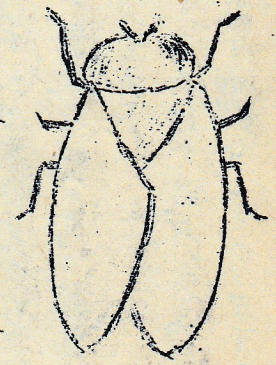
八月三日午後十一時半上野発。東京の田の方は十人程汽車にゆられながらしばらくニ田の方とあ話ししなかつらくしていった。急にガワめきが聞えたので何事かと思つたら、土砂くすれだぞうだまつた。くついでない。汽車を降ろされ道端で朝食。来るはずのバスが来ない。一時間近く経つたと思ふ。隊長さんがいらして汽車に乗って下さつた。いあれた。ついに荷物車に乗って熊平まで行つた。又汽車から降りて三十分位持ちやつた。バスに乗った。何でも軽井沢との向が土砂くすれなつた。どうだ。バスの故障も道の破損で軽井沢にたどりついたので正午。そして長野駅着が午後三時過ぎ。皆うんざりした顔をして、指定の茶店で風食をした。バスに乗って戸隠に着いた。が河と、

定まり七時前程遅れて午後七時尋暗く霧がおりていたが本部の方やリーターの暖かい拍手で迎うさまに迎えられた。ポー角宿と共にテントの外に飛び出して木のすかすか、レインコートで胸一杯吸った。冷たい水で洗顔をすませると、やうと生ま返つた様な気がした。向うの自樺林から聞える鳥の合唱が澄みきつた空に吸ってこまれそうだった。ヒートホホキも、カマ、ブボリ隣では牧場の牛が草を食べながら時々出した様に空を見上げて、ヒョーヒョーのどかた声を張り上げる。まじい箱にありて、ポールのをつかんで本部めかけて突進した。一番乗りの、ギョウ組息せきつてさげんだ。さてこの辺で我々「キキョウ組」の顔ぶれを御紹介しよう。まず副リーダーが田沢さん。組員は天石、北は

北海道、東京、神奈川の四山前日、準備までと、ソツタは、この三期の目的は十年経歴田の表彰なので、儀式に重点を置いていた。下うだ。三日の午後は、テレビや新聞のカメラマン等が来て、キャンプファイヤーの予行練習、夕食後が本番。いつものように、まろく、つって、マイヤーを、田歌出し物が、す、められた。やがて、それが一段落つくと、いよいよ、表彰式。サレ、何形が三ばん、章型に変った。田名と氏名が呼ばれた。次々と田歌をもつて、表彰状を頂きに行くと、私が東京才四田の番に、つた。私は、鍋島会長から表彰状を受ける。時、小聲でオメデトウと云われ、大時、一番うれしかった。次は、会長の御挨拶。ついで、未賓祝辞。特に珍らしかったのは、善光寺の御上人様が三人もお見えになった事でした。こんな事は、長野市に、つても珍らしい事、つた。そうです。

一番うれしかつたこととけ花火を
 あげて下さったこと。中でも真暗
 は空中に必死必死と光が走ってそ
 こより火が流れ出して飛びつ
 いた花火は皆思ひす拍子を送り
 ました。お空様もお帰りにけり
 衰えてきた火がみづりて最後の
 螢火を歌っていたら何だか胸に
 グツときてしまつた。
 今私を見てゐるこの火は消えお
 うとしてゐる。けれどこの火はス
 カウトの心の中であつた燃え
 流くだろう。そして日本中にちり
 かりに帰つて津波に帰つてそ
 のスカウトの心の中でより大き
 くより強く燃えあがらうだ。
 みんなでこの火を大事にして、
 立派なスカウトになり、又由かれ
 る金園キヤリアに拘りて行こうで
 はありませんか！

一完



才十四回世界キリスト教大会奉仕

私達からは聖南坂教会入チャ
 予スカウトとして奉仕致しまし
 た。朝は青山学院で。夕は予歌
 々谷の都体育館で。しつた具
 合にその朝は朝から晩まで一生
 懸命にお手回ししました。お
 中で。英語の勉強にもなつたし
 念。役にけ立一たし。スバラシ
 い奉仕でした。
 これからも種々の奉仕をして
 皆さんのお役に立つ。ガール
 スカウトにけりましよう！

盲学校訪問

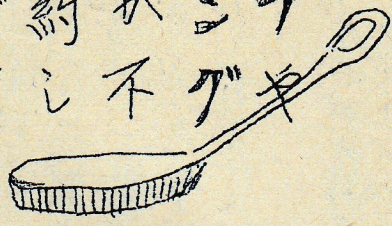
七月五日、中三以上が *meeting*
 の時間を利用して、トニチャン
 のいりっしや盲学校を訪問
 した。トニチャンはもうハハ
 前四回で訪問した。芥沢さん
 の愛称です。その学校は飯田橋
 から歩いて十分かゝるかかゝり
 けりソマの所にありませう。玄園で
 久し振りにトニチャンにあ会
 した。一回ハ靴をぬいでスリッ
 パにかえ。食堂に案内された。
 そこでは、高橋以上の方だけで
 ティスカッションをする予定で
 した。始めに自己紹介をして計
 議に入つた。男生徒からけま
 んに意見が出るが、そのおれ
 が胸をさされる下う守持がレ
 だ。その方々が一審。強調され
 て云われたいことは次の事だ。
 正眼者は盲人を一種の病的的
 思つらしく、一人前の人間とし

方だといふことを知ってほしい
と思ふます。

ソレがケチオミマイ。

生活の子工

キヤムヤ
ハイキング

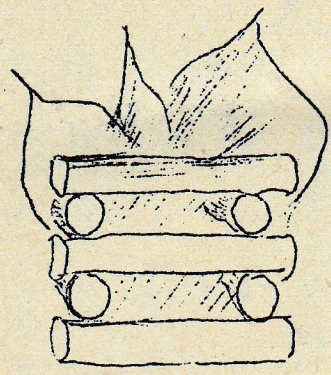


等で水が不
自で節約し
なければなら
ない時、油を使つた
フライパン等を洗う前
に火にかけて、新聞紙で
よく油をふき取っ
ておけば洗うのも簡
単です。

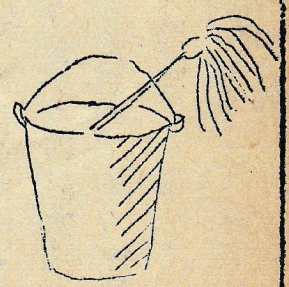
キヤムヤ

フライヤー

去る八月二十九日(金) 永川公園
は於て、四団合同でキヤムヤ、
フライヤーが行われた。生煙の
雨で途中から中止となつたが、
B.S. G.S. ミニア、カブ、シ
ーサヤマトの歌、劇等の面白い
出し物を見ました。



大掃除!



八月三十日(金) 朝九時から午
後四時まで、教会の大掃除が
行われました。一年間の又二
れ(昨年も八月に皆んなで大
掃除をしました)をきれいにし
ました。
G.S.の部屋も模様替えをし
て、より使いやすくしました。
こんどは、カバをぬりかえたり
して、もっときれいにした
いと思ひます。みんなで G
S.の部屋を、きれいに使いま
しょう!

那須支部

キャンピフ

八月二十二日

朝 私達は御西親

に見送られ、

那須ホーイスカウト

野営場に向った。私達四田はリ

ーダー、副リーダー、上級スカ

ウト 副委員のオニ人に京都か

りのお客様を交えてカトシテテ

名、カーバラ五名、タニホホ五

名、パニジー六名、マーガレッ

ト五名が参加した。

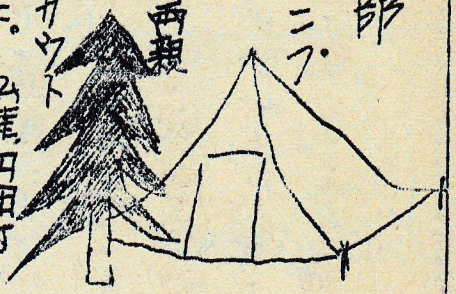
このキャンプには、四田のほか

に、七田、八田、十四田が出席

した。お風近く西那須野に着き、

そこらバスで十分ばかりゆら

れて、私達は、先発隊やデニミ



イ(吉田さん)とおっしやりキャン
プ場の管理人をなさったり、ホ
ーイスカウトのお世話をなさる
方)に迎えられ、森にかこまれ
たキャンピフ場に着いた。まず、

荷物をすとい、デニミにギマ
ニフ場を案内していただいた。
その後、各田ごととわかれ、風
食、それがすむと、開会式が行
われた。私達はこのすばらしい
キャンピフ場で、三日四日の生活

をするのだ。さつとく、ブラウ
スにジニズというのを買って格
好で、設営にせりかゝる。人員、
不足なので一苦労した。スコツ
プが一ツ足りないのでかゝはかど

らな。その間に薪などの配給
があり、さつとく配給係がほとん
でいく。夕食の仕度にとりか、
る頃、雨がホッホツと降り、は
じめは、夕食はカシューライスだ

クワ、スゴイオコデタノ。

と、わけいこさぬ。早くも大き
な声で、目々のかゝを歌ってり
る組もある。雨の為、キャンピフ
アイヤーが出来ないの、組会
になった。皆デニトの事で、ダ

ベツたり、夕べたり、九時より
組長会議、つかれて寝てしまっ
組、歌ったりしやべったりして
組長さんを待つ組、集団でぞろ
ぞろ、お手洗へ行く組。

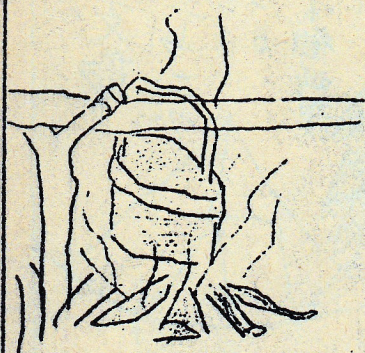
二十三日、六時起床、起床報
の後、パニジーが名誉賞を
いただいた。その夜も雨が降った。
夕食後本部は集って、組歌表
をとりかゝり、スリッピニガバッ

グに入った。
二十四日、朝から小雨が降って
いた。今朝は、マーガレットが
名誉賞を、タニホホが仲良し賞
をいただいた。午後から

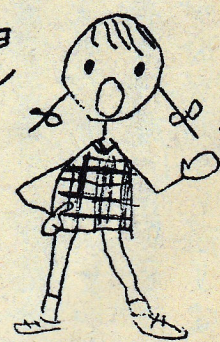
あまり雨がひどくなつたので、
金堂に引越してしほすればなら

ぼくになった。派習と化した道を
 直たソリニクを背にトボく
 し金堂に向った。テニトに心を
 ひかすはがらう...
 校部屋の中で、さ、ヤカフマ
 イアアをかこんで各組の智恵を
 ふりしぼった。面白イスタンツ
 があった。

ニ十五日、今日も朝から霧雨が
 降っている。閉会式が行われ、
 四田のマホ子ヤン、クヤカバサ
 ンが感謝の言葉をさ、げた。そ
 の後サトシマが名譽賞、ガイヤ
 ラが努力賞をいたゞき、お庭で
 記念まつえいをして、キヤニア
 場に別れをつげた。



キヤニア流行語



チヨン チヨン

左に同じ 或は左に同じ

バカ釣ね!

バカ釣ねとは、バカ釣ね
 してゐるのではない、
 別にどういふと、こぼはな
 即ち、バカ釣ねはバカ釣ね
 ある、判らなソコ、
 そうソウの、ガバカ釣ね、

ギョテヨンテヨン

もう駄目だめ等の意

マア イイテニョー!

饒んでえうごとし

バー

バーはバー、感じからの
 意をみよとてね

こねかしの

流行語!?

ナニゲナク

さつして下さぬ ナニゲナク

ホホエマシイカオ

シテネテイルヨ

コツテヨムイテ

ワラツテゴラン

(エヘと笑う)

ワラツタカオホマタ

イイイヨ

(アヒと笑う)

オコツタカオガ

マタイイイヨ

ーオニマイ

団委員発表

団委員長

志水鯉

書記

黒部

会計

安保

団委員

九鬼

奥村

長谷川

リリーダー及び実行委員

リリーダー

志水鯉

副リリーダー

黒部牧子

〃

田中富江

ガベラ組

日下部珠子

カトレマ組

西田ミヨ

マーガレット組

市浦牧子

タニボボ組

登村月子

パンジー組

安保和子

書記

黒部愛子

会計

田中恵子

報告!!

。お家にいらない衣類その他子供のものがありましたら必ず返願いたします。これほまじめておいて皆で奉仕に行く所行って行くものです。

。キマプの為着感賞が相当、赤字に守りました。出していい方は、大至急お願いたします。

。那須キャンプで他人の所持品を拵っていったり、まちがえた方は、係迄持っていくして下さい。新聞社に宛て希望の方は、必ずお申し込み下さい。近所内に出版係で行きます。日どりはおつてお知らせ致します。

編集後記

今号は大変遅れてゴメンナサイ。いつもはちゃんとお出すのにどうしたのだらうって御心配下さったこと、思います。六月七月八月は御存じの通り大変忙しく編集係一同が足らず、ついにこの様に遅れてしまいました。しかし三月月一緒にして内容をうんと増やしおしたから許して下さい。

～皆てまからの投稿を～
～首を長くして待っています。～

昭和33年8月20日印刷
昭和33年8月30日発行

編集者 G.S.N 出版係

発行所 志水鯉

発行所 港区赤坂 聖南坂

かえるのトモ 聖南坂 田中



行事

九月十三日(土)

至時より 乗氣舟で 東京
支那のキャンピングファイヤー
が行われます。
田で出し物をします。 申し
ぬですぬ。

九月二十日(土)

元リノター 太田直美様
さんの送別会が行われます。
太田さんは今度 アメリカ
へお帰りになつてしまわれ
るのです。 さびしくなりま
すね。 祖からの物しものに
は道をいぼつて下さいぬ。



本当に残念

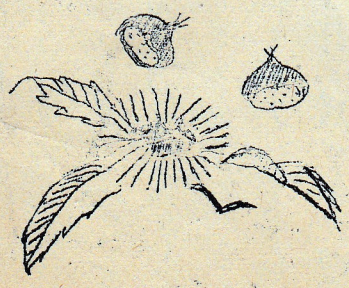
ですが

リノターのオの物語では新らし
く入田しに。 方は九月に入れ
事になつてににのすが、 余り
にも現在が、 数が多いのぞ
本当に残念です。 新らしに
には、 来年四月まで待つてに
だく事になりまし。

四月になれば、 実行委員の連中も
今より、 もう少しお好さんらと
くなれるでしょう。 谷さんちや
はリスカワテイニングを、 理解出来
ることと思つます。 そいぞ四月
に新らしく入つたに、 遠にいろい
ろとよく教えてあせられるよう
になることと思つます。 もし新
らしく入田しに、 お友達を、 持っ
ていたら、 一応、 本からリノターに
連絡してありて下さい。 四月に、
は、 新らしいお友達を心から、 必

出版係の歌

いい新聞
いい新聞
G-の新聞
いい新聞
世界で一番
いい新聞
まったくた
まったくた



必ろこんで
私達の仲間を迎えら
れませう。